



神埼市 議会だより



ドリームパークで日本舞踊を楽しむ子どもたち

9月定例会

11月定例会は11月25日開催予定です

9月定例会からぶんぶんテレビにおける一般質問の放送が
11チャンネルから12チャンネルに変更されました。

目次

議会報告会・アンケート結果	P2~3
平成28年度一般会計補正予算「これが聞きたい」	P4~5
各常任委員会Q&A	P6~7
委員会の研修及び活動報告	P8~11
一般質問	P12~19
議会の動き・編集後記	P20

第40号

平成28年11月9日
2016年

神埼会場

神崎中央公民館 1階 第1研修室

8月20日(土) 午後7時～8時30分 市民参加者20名



・初めて参加したが、良い企画であると思った。ただ、定例会の内容報告は読まれていたのを文書化されていた方が良かったのでは。語ろう会は非常によかった。

・出席人数が思ったより少なかったので意見が出るかと心配したが、時間内に質問も多く良かった。



が開催されました

脊振会場

脊振公民館 2階 大会議室

8月26日(金) 午後7時～8時30分 市民参加者21名

・勉強不足ですが皆さんの報告内容は議員の立場のみの説明で市民にわかりにくいと思ったのは自分だけでしょうか？報告内容の柱書きだけでもあればと希望します。

・様々なご意見が出て、脊振の事を考えておられる思いが伝わってきましたし再認識させられた思いでした。



千代田会場

千代田支所 2階 2-2会議室

8月27日(土) 午後7時～8時30分 市民参加者28名

・神崎市に住む市民としては議員の方の生の声を聞くことのできる良い機会であると思いますので、今後も継続して頂きたいと思います。

・議会についてもっと市民が関心をもつことが必要と考え出席しました。これからは時間を作って議会の傍聴もしてみたいと思います。

・説明者は、棒読みするのではなくメリハリをつけて重点的にわかり易く情熱を以て説明して欲しい。



第3回議会報告会

議会報告会運営会議座長報告

議会報告会運営会議座長 永 沼 彰

今回の議会報告会は、前回参加者が増加したことから議会報告会の市民への広報（周知）方法を昨年同様の手立てで実施すること、参加しやすい日程にすることで昨年以上の参加者増を目標に取り組みましたが結果は微増にとどまりました。

次に参加市民の構成ですが、60代、70代の参加が多数をしめており、アンケート調査のご意見でありましたように若手層、女性層の参加が少ない点では今後の課題になりました。

報告会の日時や会場については、「2月定例会の内容を中心とした報告会に対し開催月が遅い」、「開催地区の細分化や回数を増やして欲しい」等の意見がありましたので検討課題と思います。尚、報告会の開催回数を重ねることで運営自体も良くなるとの意見も頂いています。

報告会に参加された感想については、報告の内容や説明の仕方や意見交換会等、今後の報告会の在り方について多くの改善案のご意見を頂いていますので、今後の報告会の取り組みの参考になるのではないかと思います。

最後になりますが、参加された市民から「議員さんが近くになった様で良かった」、「これからは時間を作って議会の傍聴もしてみたいと思います」、「神崎市に住む市民としては議員の方の生の声を聞くことのできる良い機会であると思います」などの感想を頂いたことは、報告会により市民と議会が身近なものになっている成果の表れだと考えます。市議会として報告会を開催することは、開かれた議会への大きな躍進となることから、アンケート結果をもとに、来年度の開催について協議していきたく思います。

補正予算

平成27年度一般会計(補正第3・4号)

補正第3号 700万円

補正第4号 2億8,227万6千円

9月定例会

平成28年9月定例会は、9月2日～23日までの22日間開催され、一般質問には16名の議員が登壇し、神崎市政全般について問いました。

平成28年度一般会計補正予算では、補正第3号として、6月に発生した梅雨前線豪雨により被災した農地・農業用施設の災害復旧工事を、補正第4号として、地域介護・福祉空間整備推進交付金事業、集落営農組織法人化推進事業など2億8,227万6千円追加され、総額146億2,064万2千円となりました。

主な補正

主な事業	補正額(千円)	事業の内容
地域介護・福祉空間整備推進交付金事業(介護ロボット等導入支援特別事業)	3,395	ベッド内蔵型のセンサーによる動作検知で入所者の起き上がり、端座位、離床などを効率的に見守り、介護従事者の介護負担軽減を図る
神崎市有害鳥獣地域捕獲隊等支援事業	1,340	捕獲隊リーダーと補助員で組織し地域ぐるみで有害鳥獣を捕獲する団体に対し補助金を交付し支援する
集落営農組織法人化推進事業	2,736	集落営農法人の設立初期に要する事務用品等の購入経費に対して補助を行う



これが聞きたい！



ふるさと納税推進事業 16,397千円

(事業の目的) ふるさと納税の促進と、「お礼の品」を市が市内業者から購入することで地域経済の活性化を図る。

Q 173品目のポータルサイトに出している返礼品は業者が仕入れて発送する方式なのか。

A ポータルサイトを使って寄附が行われると、神崎市のシステムで業者に返礼商品の発注を行うようにしている。業者で発送作業まで行う。



ふるさと納税の返礼品（一部）

地域介護・福祉空間整備推進交付金事業 介護ロボット等導入支援特別事業 3,395千円

(事業の目的) 介護従事者の負担軽減を図るとともに、働きやすい職場環境を整備することで介護従事者の確保を図り、高齢者福祉の推進に資する。

Q 介護従事者の不足で、全国的に介護ロボットの普及の可能性がある中で、取り組み施設の選定基準は。

A 市内の全事業所に、国の納入基準に沿って照会をかけて、申請があった事業所を選定している。

神崎市有害鳥獣地域捕獲隊等支援事業 1,340千円

(事業の目的) 地域捕獲隊の組織化や捕獲技術の向上に取り組む。

Q 3年以上継続して取り組んだ場合に補助をもらえるのか。3年以内で止めた場合はどうなるのか。

A 交付は1年ごとに行うが、継続することで効果があるもので、3年以上取り組むことが条件となっている。

各常任委員会のQ & A

文教厚生常任委員会

《議案第55号》(全員賛成)

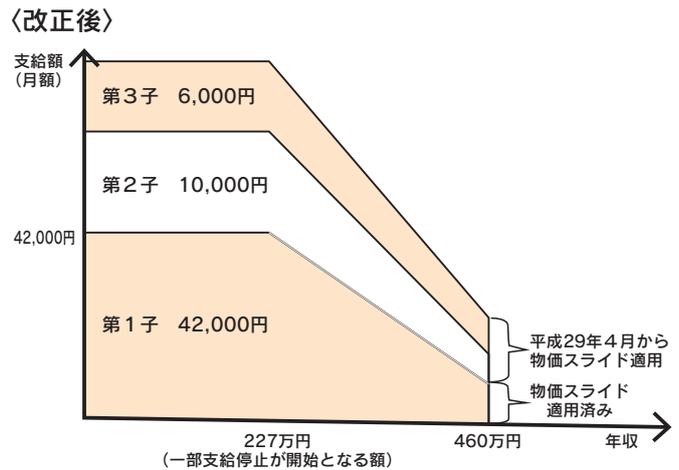
神崎市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について

市民福祉部

Q 改正をされた背景はどのようになっているのか。

A これまで国で議論をされていたが、子育て支援を国が進めているということだと思う。また、昨今の生活困窮については、一人親の方がどうしても困窮者が多いということで、2子目の方が1子目に比べると極端に金額に差があることも含めたところで改正が行われたと思っている。

(例)母1人子3人の場合のイメージ図



《議案第56号》(全員賛成)

神崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

市民福祉部

Q 保育園に保健師や介護士がいると非常に助かると思う。正看護師から准看護師まで幅を広げたということについて説明してほしい。

A 家庭的保育事業等の運営をするにあたり、保健師又は看護師の確保が困難であるため、乳児4人以上を入所させる当該事業所について保育士の数の算定を行う際に、保健師又は看護師に加え、准看護師についても保育士とみなすことができるとされた。



保育園の様子

各常任委員会のQ & A

総務常任委員会

《議案第54号》(全員賛成)

神崎市議会議員及び神崎市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例等の一部改正について

総務企画部

Q この改正について、額はいくらになるのか。

自動車の借り入れは現行107,100円が改正後110,600円に、燃料費については現行51,450円が改正後52,920円に、ポスター作成は114枚分で現行360,126円が改正後370,500円となる。3つの項目を合計すると、現行が518,676円で改正後534,020円となり、合計金額で比較すると15,344円の増ということになる。市長選挙では、ビラ作成の単価引き上げがあり、1,600枚となっているため、現行116,800円から改正後120,160円となる。



選挙ポスター掲示板

A の項目を合計すると、現行が518,676円で改正後534,020円となり、合計金額で比較すると15,344円の増ということになる。市長選挙では、ビラ作成の単価引き上げがあり、1,600枚となっているため、現行116,800円から改正後120,160円となる。

《議案第57号》(賛成多数)

神崎市・吉野ヶ里町葬祭組合の設立について

総務企画部

Q 負担割合は総工費概算15億円の内約3分の1が吉野ヶ里町の負担という状況で、組合議員の定数が10名ということである。神崎市の議員定数が20名、吉野ヶ里町の議員定数が12名、12名の中から5名ということになるわけだが、規約を決める際の人口比や定数比の論議はどのようにしたのか。

A 現行の協議会も同数でやってきた経過があり、両市町協議の上で精査している。神崎市の方が負担が多いということになるが、他の神崎市郡内にある一部組合も議員数では同数で出しているというのが実態である。



葬祭公園建設予定地



賛否があった議案を紹介します。

議案第57号 神崎市、吉野ヶ里町葬祭組合の設立について

議案番号	議決結果	廣瀧 恒明	西原 正剛	宮地 明	簗原 忍	中野 均	藤瀬 光正	野口 英樹	野副 芳昭	白石 昌利	原口ひさよ	田原 和幸	山田 一明	山口 義文	木原 憲治	松本 軍二	永沼 彰	福田 清道	佐藤 知美	片江 護	原 信義	
議案第57号	賛成多数	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会改革検討特別委員会活動報告

山口 義文 委員長

8月23日の第1分科会では行政評価について協議され、多大な事務量やその効果を考慮すると現時点で導入することは困難であり、常任委員会で1、2程度の事業を選定し、その事業について決算特別委員会で審議した方が効率的であると、併せて改善要求等を文書で行うことで協議された。

7月14日、8月3日、22日及び9月13日の第2分科会では政務活動費の使途のマニュアル化に向けて作業され、12月末までに委員会としてのマニュアルを調整し、平成29年度からの運用を見込んでいく。

9月12日の小委員会では、分科会及び議会運営委員会からの報告を受け、委員会での協議事項を調整した。

9月15日の委員会において、第1分科会報告事項の行政評価に代わる決算審査充実については、分科会の結論を尊重する一方、常任委員会で所管する事業の評価は常任委員会で審議するべきとの意見があり、今後は必要に応じて常任委員会で決算についても審議し、文書での委員

会意見の提出を行っていくこととした。議会運営委員会報告事項の会期日程の取り扱いについては、委員会審議の充実のため、全委員会を終日とし、付託議案がない場合は常任委員会で開催の判断をすることとした。また、他の公務の日程調整に配慮するため、定例会最終日に作成される次回定例会の会期日程案については、極力変更しないこととした。



産業建設常任委員会活動報告

藤瀬 光正 委員長

7月11日、長崎県南島原市において「農林漁業体験民泊」について研修を行った。同市では、農林漁業者宅において、農林漁業の体験や夕食作り等を体験してもらった民泊事業が行われている。受入体制や体験の質に課題はあるものの、受入者は1万人を超えたとともに観光客も増加していた。

「山鹿灯籠」にまつわる文化を融合させる取り組みの実践と、葡萄栽培とワイン醸造による誘客目的としたワイナリー整備を構想すること、市内外の交流拡大と地域経済の活性化を図られていた。

次に、7月12日、熊本県山鹿市において「観光振興の取り組み」及び「菊鹿ワイナリー構想推進事業」について研修を行った。同市は温泉資源を活用した誘客と、歴史あ



山鹿市での研修の様子

議会広報編集特別委員会の活動報告

野副 芳昭 委員長

平成28年7月21日から22日にかけて行政視察研修を行った。

7月21日、兵庫県加西市では、選挙権年齢の引き下げにより若者が政治に触れる機会が多くなり、議会に興味をもってもらうため市内高校の全生徒に「議会だより」を配布する取り組みをされていた。

今回の研修成果を生かしたページがあった。市民の方が楽しみに読んでいただける「議会だより」を目指して取り組んでいきたいと思う。

7月22日、岡山県美咲町は、議会だよりコンクールで入賞するなど広報紙作成に力を入れられ、取り組みとして、委員が交代しても統一した議会だよりを発行するため、詳細な編集マニュアルの作成。また、議員自身で取材を行い作成する町内サークルの紹介など



美咲町での研修の様子

神崎市まちづくり特別委員会の活動報告

山田 一明 委員長

8月に全議員を2つの班に分け現地視察研修を実施。第1班の兵庫県太子町庁舎は昨年9月に竣工。建設にあたり基本コンセプトとして「和の品格」を感じる市民の居場所づくりを掲げていた。第2班の岡山県高梁市本庁舎は、昨年4月竣工。庁舎建設基本コンセプトとして「誰にでもやさしい庁舎」「防災拠点となる庁舎」「省資源省エネに対応した庁舎」に基づき建設。次に第1第2班合同で新見市の複合施設「さらめき広場哲西」を視察。市民アンケートの意向を反映し診療所、図書館、保健福祉センター、文化ホール、認定保育園も同じ建屋内であった。

9月15日委員会を開催。新庁舎建設に関するアンケート及び基本計画（案）について執行部からの報告説明を受け議論をした。今後市民の意見や8月の現地視察研修の成果も活かして議論を重ねたいと思う。



「和の品格」が感じられる太子町庁舎



高梁市の本庁舎



新見市複合施設（診療所CT室）

議会運営委員会の活動報告

白石 昌利 委員長

議会運営委員会の行政視察研修について報告する。7月26日・27日に「議会運営及び委員会運営」と「議会改革と開かれた議会を目標とした取り組みについて」

を重点事項として、大阪府の枚方市議会と大東市議会を訪問して視察研修を行った。

枚方市議会では、①一般質問の時間配分や通告の可否について。②予算及び決算の審議方法について。③議案の総括質疑について。④通年議会について。⑤議会報告会又は出前議会の状況。⑥市民への議会情報の発信についてを調査項目として研修しました。一般質問については、会派所属議

員数に応じて会派に対して時間配分されており、会派制を取り組んでいる神崎市議会において今後の参考になった。

大東市議会では、主に議会改革と開かれた議会を目標とした取り組みについて研修を行った。会場には大型モニターを数台設置して、

質問の中で現場写真や資料をスクリーンに映し出し、傍聴者にもよりわかりやすい説明を心掛けられていた。又、議会報告会その他に「出前講座」、市民からの質問を受ける「政策タウンミーティング」や「夜間議会」を実施されるなど、議会の活性化に取り組みられ大変参考になった。今回の視

察研修成果を生かし調査検討を深め、今後の議会運営に取り組みでいきたいと思う。



枚方市での研修の様子



大東市での研修の様子

一般質問

神崎市議会だより 第40号

そもそも、合併特例債の目的(用途)とは何か

答 合併の特例に関する法律により発行が認められた地方債



片江 護 議員

議員 合併特例債充当事業内容を見ると、神崎では道路や学校施設の整備に加え、中央公民館やもみじの湯、中心市街地など市民の憩いの場や歴史文化、社会教育など市民福祉の向上に貢献する施設が整備される一方、千代田では、市道、農道、学校、農業用施設等、いわばインフラ整備に終始しているように見受けられる。このように充当事業の質が異なるのに理由があるのか。

議員 千代田町が人口一人あたりでいうと合併特例事業を最も実施している。

と答弁があつた。このことには異論がある。

え財源の確保を見極めながら決定してまいります。その結果、旧町村民対象としてきた施設の老朽化等の状況のみならず、全市民施設として改修改良の必要が生じた施設の大規模改修や建替え事業を実施してきたものです。

総務企画部長 事業量分析を市内一円対象のもの、専ら神崎町の区域、同じく千代田、脊振の区域ごとに算出し事業量を示したもので、ただ単なる全額の羅列では、その多寡のみで判断してしまふため、目安として人口一人当たりの額を示したものです。

一般廃棄物・食品リサイクルについて

答 東部ごみ処理施設建設協議会で検討する



佐藤 知美 議員

議員 一般廃棄物・リサイクルの推進については、環境基本法を軸に各リサイクル法など国を挙

げて循環型社会の形成によつてごみ減量化とリサイクルに努めているが、脊振塵芥処理組合におけるごみ減量化対策の現状、リサイクルによるごみ減量化、生ごみの処理状況と資源化対策、事業系ごみ・外食産業、小売業の一般廃棄物と生ごみ等の処理とリサイクルについて質問します。

自治会、老人クラブ、PTAなど資源物集回収事業を実施し、昨年度は四十五団体で三百三十八トンの減量化で一千万円の経費削減になった。生ごみの処理と資源化対策については、コンポスト等で生ごみの堆肥化を目的としてごみ処理容器購入補助金制度を実施している。



千代田町のまちづくりの中心地

平成28年度 神崎市ごみ収集カレンダー・分別表

神崎町

背振広域クリーンセンター
Seki Wide Area Clean Center

グリーンセンター入口

背振広域クリーンセンター

深堀市民福祉部長 ごみ減量化は、食品ロスを出さないことや水切の徹底、適切な分別による資源化が必要、市報やごみカレンダーで市民への啓発を行っている。

事業系ごみ・外食産業、小売業の一般廃棄物と生ごみの処理は一般廃棄物については家庭用ごみと同様のリサイクルを行っている。それ以外のごみについては産業廃棄物として処理し、事業系一般廃棄物についてはレジ袋の削減や食品トレイの回収など店舗に働きかけている。

クリーク防災事業の工事施行に問題。改善できないか

答 営農に支障のある場合、応急対策と補修工事を行う



野口 英樹 議員

議員 現在行っている、クリーク防災事業（のり落ち工事）は、工事前より畦畔高が高く畦畔幅が狭い。また、のり面が広く、のり面には亀裂が入り、水田からの漏水もあり、農作業や安全面から非常に支障を来している状況だ。工事施行の改善ができないか。

小坂農林水産担当参事官

事業実施主体である佐賀県において、残土処理費用と畦畔高、畦畔幅、農地へのまき出し等の場内処理費用を比較検討され畦畔高を50cmとしている。また、工事施行後の漏水で営農に支障の

ある場合は、応急対策を行い収穫後に本格的な補修工事などを行います。

農作業の安全対策については、農作業安全推進研究会も開催し作業に従事される農家の方々には安全確保に配慮され作業を行っていただきたいと思っている。維持管理に手間がかかる場合もありますが、工事費の縮減のため御理解をお願いいたします。



水田からのり面へ漏水しているようす

脊振町の活性化について

議員 脊振町複合施設建設で、診療所の場所はそよかせ荘と隣接した方が利用しやすい。診療所はプライベートの配慮を考えてほしいという意見があるが、市の考えは。

高平総務企画部長 脊振町複合施設建設の位置は、脊振庁舎及び脊振公民館の敷地内で、診療所

も同一敷地内に集約したいと考えている。プライベートの問題から別棟で建ててほしいといった意見もあり、今後検討委員会で協議したいと考えている。

脊振町の財産（清流・山々の緑）を活かした取り組み

答 人の流れ、産業の創出で維持・活性化につなげる



白石 昌利 議員

議員 脊振町（中山間地域）は、高齢化集落の増加、地域を支える後継者（若者世代）の不足、生活基盤（買い物等）の低下などが進んでいる。こうした状況を踏まえた様々な課題に対応する脊振町の維持・活性化を図る為の考えを伺う。

甲斐脊振支所長 脊振町の財産である清流や、

山々の緑を活用した取り組みなどで人の流れを生み、新しい産業の創出も期待でき、脊振町の維持・活性化に繋がっていくと考えている。

議員 脊振勤労者体育館の利活用について伺

う。脊振町は卓球競技のレベルが高く、競技人口も多いと聞く。リオオリンピックで注目された卓球競技であるが、勤労者体育館を活用して市内外の競技者を招き大会又は、練習会の開催ができないのか。市内にも卓球指導者は多く、実業団の選手を招くことができれば市内競技者のレベルアップと、脊振町に人を

呼び込むことにつながると思う。
松永社会教育課長 過去において久光製菓スプリングスを招き、バレーボール教室を開催して地域のスポーツ振興など多くの成果を上げた。市内卓球競技人口の増加や、競技力の向上などの効果が期待できるので、今後検討していきたいと考えている。



リオオリンピックで大活躍した卓球競技

就学援助金の入学前支給への改善を求める

答 納得できる提案、ありがたい



福田 清道 議員

議員 就学援助金の中の入学準備金、神崎市では小学校19,900円、中学校22,900円となつている。ところで、自治体によっては入学前の3月に支給しているところもある。市もそのように改善を求める。

永原教育部長 県内10市では行われていない。3月支給となれば、前々年度の収入額を審査することにになるので、世帯の直近の経済状況を反映しているとは言い難い。

議員 進んだ自治体では工夫をやっている。福岡市、日田市、八女市

などでは入学祝金を小学校入学時に3万円、中学校入学時に5万円を支給している。これは新たな財源がある。これをやれたら一番いいが、この就学援助金の中の入学準備金を前倒しすれば、別に新たな財源はいらない。市長の英断を求める。

市長 工夫をすればできるのではないかとこの納得できる提案に対し、確かにそのような形になるかもわからないが、やれるところやれないところ、そういう点を研究する必要があると思う。また低所得者対策、子どもの貧困対策は市町だけの施策では限界があるので、県全体として取り組むよう私は県にも提案している。



安心して入学できるように

災害時の消防団員の安全確保マニュアル作成を

答 安全マニュアルは当然つくるべきである



野副 芳昭 議員

議員 大規模地震の恐ろしさを感じた熊本地震、長崎県の普賢岳噴火、東日本大震災での津波などによる被害は甚大なものであった。災害が発生した時、行政、消防、警察、自衛隊の出動はもちろんだが消防団員に頼ることは大きいものがある。地域住民の避難誘導に当たり犠牲になることもある。犠牲者を出さないためにも活動中の二次災害がないような退避はどのようなものか。

高平総務企画部長 危険を判断し退避を的確に指示できるよう努める。

議員 消防活動時安全マニュアルはあるのか。

牛島防災危機管理課長 作成はないが、水防計画書に安全配慮を示している。

避難施設での網戸の必要性

議員 暑い時期での避難所では窓の開閉が必要である。網戸がない施設は害虫が入り開閉できないが網戸を設置する考えはあるのか。

市長 検討、研究し早急

に臨んでみたい。

介護予防日常生活支援事業

議員 介護予防訪問介護及び介護予防通所介護が地域支援事業として平成29年4月に始まるが対応は充分か。

家永高齢障がい課長 地域の実情に応じた支援ができるよう、協議、検討を十分に行なう。



災害に備え訓練に励む神崎市消防団

巡回バス事業は今後も継続していくのか

答 運行形態を議論・検討し継続していきたい



西原 正剛 議員

中島企画課長 増便についての検討は、神崎市地域公共交通活性化協議会でなされ、神埼コース3便千代田コース4便運行している。今のところ増便の計画はない。

議員 市内のタクシースタが減り市民の移動手段が少なくなるが、巡回バスを利用した移動環境の向上対策は考えているのか。

高平総務企画部長 神埼町の事業者の廃業に伴い、現在、千代田町の一社になったが廃業社の車両を全て引き取り、現在では時間的サービスを24時間と向上し市内の運行に寄与してもらっている。また、巡回バスへの影響も無いものと思っている。

議員 今後、高齢者や免許証返納者が増えると思うが増便の計画はないのか。

行く福祉有償運送事業、神崎市では3業者が実施営業している。今後も弱者といわれる高齢者・障害者へのサービスに努めていきたい。

その他の質問 農業の今後の考えについて

志岐福祉事務所長 外出が困難な高齢者や障害者などへの移動支援に係わる事業は、経済支援としてタクシール金の一部を助成する重度障害者福祉タクシース事業。市以外の事業として安価な運賃で輸送サービスを



おたっしや いきいきクラブ事業の利用状況

一級河川の流下能力の現状をいかに認識しているか

答 河道内の雑木繁茂が流下能力低下要因と認識



山田 一明 議員

最終目標流下能力は毎秒330t、そのための河川改修等の進捗状況と今後の計画は。

産業建設部長

筑後川水系河川整備計画によると佐賀江川合流点よりふると大橋付近まで直轄区間において河道整備の目標流量330tを流下させる河道掘削及び計画堤防幅を充足していない区間の堤防拡幅等を城原川ダムの建設と合わせて実施する。

議員 2年前広島県での土砂災害発生を機に国県は特別警戒指定の推進を行っているが、神崎市内の土砂災害防止法に基づき特別警戒指定の状況は。

岸川産業建設部長

8月現在で脊振町の一部地域で既に指定完了し土砂災害警戒区域207カ所、その内197カ所が特別警戒区域に指定されている。脊振町の残り地区と神埼町については平成27年地区説明会を開催し本年度中の区域指定を目指すとのこと。

議員 城原川は現在毎秒280tの流下能力で

産業建設部長

田手川の曾根ヶ里橋下流の河道には大木となった柳、竹が繁茂してジャングル化しており、濁流の流れを阻害している。現状で毎秒390tを確保できるか。



田手川

その他の質問 南部工業団地造成事業について

田手川河道内における柳、竹の繁茂が堆積土が著しい状況にある。三本松川排水機場から田手川合流点までも雑木等が繁茂している状況。県へ伐採の要請を行ってきた。今後も地元の要望を聞き適宜県へ要望していく。

保育士の確保と処遇について市独自の改善策があるのか

答 国において処遇改善策が行われており国に準じたい



木原 憲治 議員

議員 厚生労働省では、全国の待機児童数は2万3,553人で、また潜在的待機児童は6万7354人に上り大きな社会問題になっているが、本市において潜在的待機児



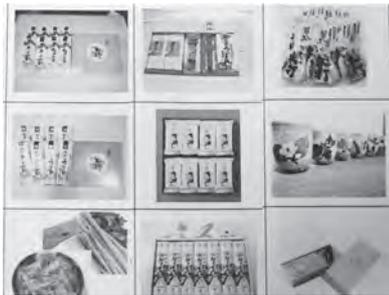
保育士の人材確保と処遇改善が望まれている

童は居られないのか。

志岐福祉事務所長 潜在的待機児童については、

保護者が育児休業中、特定の保育所のみ希望、求職活動を休止中等色々あり、窓口に来られた場合には相談に応じているが、すべての潜在的待機児童の把握はできていない。

議員 他自治体では、独自に給与に数万円上乘せたり、家賃の補助、奨学金返済支援、潜在保育士の就職時の支給等行っているが、本市



ふるさと納税の返礼品のさらなる充実が検討されている

特産品の募集や掘り起こしを行い、ポータルサイトへ掲載し充実させていきたい。

ふるさと納税について

議員 ふるさと納税について再度返礼品の検討がなされるのか。

高平総務企画部長 「神崎市ふるさと納税応援事業者募集要項」を策定し

旧古賀銀行と門前広場の活用はどうするのか

答 復元趣旨に沿って、中心市街地の活性化に取り組む



中野 均 議員

議員 現在、旧古賀銀行、門前広場の整備改修が実施されているが、整備後の中心市街地の活用はどう図っていくのか。

高平総務企画部長 中心市街地の再生に向けて提案をまとめた「CSOかんざき」を主体としたワークシヨップメンバーと行政及び市民の協働により市民みずからの活動・融和により、施設の有効利用を図ることで活性化に努めたい。

議員 旧古賀銀行の復元工事を実施されているが、その施設の何をPR・活用したいのか目に見えて来ないが。

松永社会教育課長 活用

策は、現在策定中で来訪者や地域住民の憩いの場としての活用を想定しており、中心市街地活性化のため歴史的建造物の価値PRと魅力あるイベントなどで来訪者の招致を促進したい。

議員 復元する旧古賀銀行の建物は木造建築技術の粋であり、復元する趣旨を明確に示し、趣旨に沿った活用を検討すべき

と思うが。

市長 文化財の意義を十分理解しないとけない。当施設は文化財として必要であり黙って置くだけではもったいないので復元の趣旨を生かしていきたい。

その他の質問

・就業機会の確保と活性化について（南部工業団地の進捗状況と分譲見通しについて）



復元が進む旧古賀銀行と門前広場

神崎市総合戦略と人口減少対策

答 住宅マスタープランの必要性は認めるが



永沼 彰 議員

議員 定住対策促進事業に取り組みられているが、事業の実態と進捗状況について問う。

高平総務企画部長 定

住・移住を奨励する施策として空き家改修費補助金制度、さらに定住促進住宅取得補助金を創設。また人口減少が顕著な脊振町、千代田町東部地区は住宅取得者に30万円を加算しています。

中島企画課長 総合戦略

の事業は平成31年度まで実施します。28年度以降各関係機関と協力し推進を図る。

議員 合併前の新市まちづくり計画に住宅マスタープランも述べてあ

る。今日、マスタープランの必要性についてどのような考えか伺う。

市長 定住促進、市営住宅の老朽化など指摘を受けている。近々行うことになればまず優先順位をつけながら、今後若干は進ませたい。

城原川の治水、利水について

議員 神崎橋付近より進められている堤体補強工

事の今後の計画について。また、佐賀外環状線の歩道拡幅改良工事の今後の計画もお伺いします。

岸川産業建設部長 右岸側は引き続き下流側へ150mの区間、非出水期に工事が実施されます。佐賀外環状線歩道拡幅工事は一時休止の状況だが、今後は堤防補強の進捗状況に応じて路肩補強工事を再開の予定と聞いている。



有効活用が望まれる千代田町東部地区市有地

脊振はダム建設を想定した道路と施設整備の計画を

答 議会の支援も受け陳情提案していきたい



藤瀬 光正 議員

議員 道路網の整備について。集落内の緊急車両も通らない道路や市内東西の道路整備について市の考えは。

岸川産業建設部長 集落

内の道路整備は、緊急性などの優先度を考慮しながら順次進めたい。また、市内東西の道路整備は関係機関と連携を図りながら整備促進に努めたい。

議員 脊振のダムについて大臣の答申がなされた。脊振町複合施設の計画はそれ以前からのものであり、今後はダム建設を前提として整備計画を検討していくべきと思うが。

市長 ダムが建設されて



城原川ダム建設予定地周辺

しい。

議員 できる所から始めては。まずは広大なグラント整備を。福岡に隣接している地の利を生かした様々な方面からの利用が期待できる。地域の活性化にも繋がる。その結果を見ながら施設を整備していけばよい。

市長 話をきいてわくわくしている。皆さんの知恵を借りて検討していきたい。

議員 脊振の高地を利用したスポーツ施設の建設を。

永原教育部長 事業費の確保が難しく現時点は難

神崎市公共施設等総合管理計画の策定について

答 大規模災害に備えて、戦略的に進めることが重要である



議員 忍 箕原

学生の部活動の利用などに活用されていると認識している。

議員 耐震基準を満たしているとの回答を頂いたが、外壁の損傷、亀裂等、玄関ホールの劣化、傷み、特に雨もりについては協議に支障をきたす。また、更衣室の古さ、新体操の生徒についてはフロアで着がえをしている。非常にかわいそつである。是非、手(改修費)を入れる

議員 体験学習については神崎の施設を有効的に使って頂きたい。

教育長 有効な施設を持つているので、今後とも活用するように努める。

議員 神崎勤労者体育館の現在の利用状況は把握されているか。
教育長 一般の方々のスポーツ利用、それから中



神崎勤労者体育館の雨漏り状況

中の橋と上の橋についての計画はどうなっているのか

答 上の橋は本年度予備設計予定



議員 明 宮地

その他の質問

- (1) 自治会と行政との連携について
- (2) 市内の自治会はどのような組織となっているか。
- (3) 他市の自治会組織で参考となるものはあるか。
- (4) 自治会に含まれない役員にはどのような役割があるか。
- (5) 市の職員はどのような立場で地区とかかわっているか。
- (1) 自治会と行政との連携について
- (2) 中地江川改修について
- (3) 中の橋と上の橋についての計画はどうなっているのか。
- (4) 末期医療について
- (5) 現状はどうなっていて、将来はどうなるか。
- (1) 市の教育方針はどうなっているか。何を大事にしたいのか。

議員 上の橋に、その道路に現在白い側線もございません。小学校の児童が通る。
岸川産業建設部長 中の橋は現況3・5メートルから東西の取りつけ道路と同様幅員5メートルに拡張する計画。
上の橋について予備設計で地元の皆さんの御意見を聞きながら、幅員について検討してまいりたい。
議員 消費者教育は、これからどういふふうに考えるか。
久保学校教育課長 金銭に関する教育は、今、少しずつ義務教育の中でも行っている。



姉川上の横からの西への道

市道整備、未解決の問題打開にもつと熱意を

答 新たにみんなが考える提案をいただいた

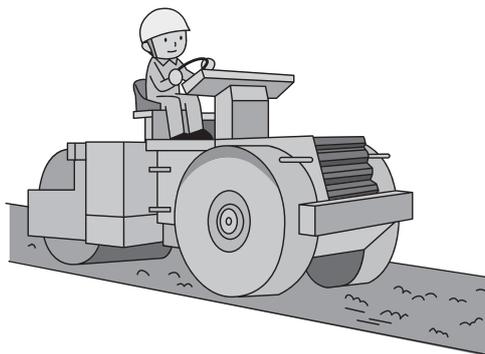


原 信義 議員

議員 主要な市道の新設改良事業で用地買収交渉がうまくいかずに未改良のままの箇所は何カ所あるのか。

岸川産業建設部長 主要な道路事業で長期的に未改修のままとなっている箇所は3路線4カ所。このうち、事業中の路線が2カ所、残りの2カ所は工事はせず、用地交渉をしている。

議員 用地交渉不調の要因、特徴はどういうことか。
産業建設部長 買収価格が折り合わないもの、代替地に関するもの、他の事業計画に関することなどである。



議員 主要道路3路線の路線名と今後の買収見通しをどう考えているか。

産業建設部長 国営千代田西1号線で2カ所、一丁目南線で1カ所、下志波屋東脊振境線で1カ所。この4カ所のうち

1カ所については、交渉が進捗している。ほかの3カ所については、見通しが立っていない。

議員 担当課が買収交渉をやるのは当然だが、担

当課任せになっているのではないのか。市職員全ての知恵と情報を集めて担当課の職員と共に力を合せて取り組む方法を模索していく必要があるのではないか。

産業建設部長 現在も市職員の情報、知恵を活用しているが、今後も引き続き粘り強く交渉に当たり、職員の有効活用については、積極的に考えてまいりたい。

債権の収納状況・収納対策および道徳教育について

答 債権窓口一本化への研究・道徳評価は記述式



松本 軍二 議員

議員 平成27年度市税・国民健康保険税の収納額・不納欠損額について。

深堀市民福祉部長 収納額は、市税29億9,648万円・国民健康保険税7億1,932万円であり、不納欠損処分額は、市税国民健康保険税合計額2,303万円であり、内訳は、財産なし1,526万円・死亡所在不明451万円、生活困窮326万円である。なお、「神崎市税等収納対策会議」を設置、納付意識の高揚、財源確保を図るため、全庁的体制で取り組んでいる。

議員 徴収部署ごと債権徴収を行っているが、徴

収一元化への考えは。

市民福祉部長 前述の「収納対策会議」において検討中であり、今後、調査研究を行いたい。

議員 道徳目標に「個人の価値の尊重」とあるが、その意味合いは。

永原教育部長 人間尊重の精神を意味し生命・人格・人権等の尊重・人間愛などの根底を貫く精神である。

議員 道徳の教科化が決

まり、小学校では平成30年度、中学校では平成31年度から授業が始まるが、教科の評価はどのような形での評価なのか。

教育部長 児童生徒間の比較による相対評価ではなく、「児童生徒がいかに成長したか」を、積極的に受け止め、励ます個人評価として、数値による評価ではなく、記述式での評価である。

「仕事や家事に忙しい皆様」
安心して便利な口座振替をお勧めいたします

納期毎に、わざわざ金融機関等へお出かけになる手間が省け、納め忘れの心配もなくなり安心です。
○各納期の月末に預貯金口座から自動的に引き落とされます。
○手続きは簡単、通常は一度の申し込みで翌年度以降も継続されます。

取扱金融機関

- ・佐賀銀行本店（各支店）・佐賀共栄銀行本店（各支店）
- ・佐賀東信用組合本店（各支店）・佐賀県農協本所（各支所）
- ・佐賀県信漁連本店（各支店）・佐賀信用金庫本店（各支店）
- ・全国ゆうちょ銀行

*** コンビニエンスストアで納めることができます。**
対象となる税は、固定資産税、市県民税、国民健康保険税（普通徴収）及び軽自動車税です。
※ただし1納付あたり30万円を超える納付書では、コンビニエンスストアで納めることができません。

議会傍聴



仁比山小学校



脊振小学校



西郷小学校

《議会の動き》(H28年7月～9月)

7月5日 議会広報編集特別委員会

11日～12日

産業建設常任委員会 行政視察研修

13日 議会広報編集特別委員会

14日 議会報告会第1回全体会議

議会改革検討特別委員会 第2分科会

20日 議会広報編集特別委員会

21日～22日

議会広報編集特別委員会 行政視察研修

26日 議会広報編集特別委員会

26日～27日

議会運営委員会 行政視察研修

29日 総務常任委員会

文教厚生常任委員会

佐賀県市議会議長会 議員研修会

8月3日 議会改革検討特別委員会 第2分科会

10日 議会報告会第2回全体会議

17日～19日

神崎市まちづくり特別委員会 行政視察研修

20日 議会報告会(神埼町)

22日 議会改革検討特別委員会 第2分科会

23日 文教厚生常任委員会

議会改革検討特別委員会 第1分科会

24日 産業建設常任委員会

25日 総務常任委員会

26日 議会報告会(脊振町)

27日 議会報告会(千代田町)

30日 議会運営委員会

9月2日～23日

平成28年9月第5回神崎市議会定例会

編集後記

はじめての坐骨神経痛を発症してからおよそ三ヶ月。いまだにお尻から右脚太もも裏側にかけての痛みが続いている。

こうした時期に市定例議会と広報編集作業が重なり苦戦。健康のありがたさが身にしみた。

さて、今回の議会だよりは全国表彰された岡山県美咲町の議会だよりに学び、2頁・3頁を見開き方式にしてインパクトのあるものにした。従来よりは見やすくなったか。

編集委員一同、これからも読者諸氏のご意見に耳をかたむけて、さらに紙面改善に努力したい。(信義)

広報委員会

委員長	野副 芳昭	委員	原口ひさよ
副委員長	原 信義	委員	田原 和幸
委員	白石 昌利	委員	永沼 彰